

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	57
2. 大学等名	長崎短期大学
3. テーマ	IV. 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）
4. 取組学部等名	全学科（食物科、保育学科保育専攻、保育学科介護福祉専攻、国際コミュニケーション学科）
5. 事業期間	平成27年度～令和元年度（5年間）

【公表】

8. 事業の概要(※400字以内)	(400文字)
<p>短期大学の人材育成の目的は地域の職を支える人材を育成することである。本取り組みで、学年暦をクォーター制にし2年間の学びを8つのターム（準備・導入・実践・検証・定着・応用・発展・完成）にする。それに伴いそれぞれのタームに準ずる科目を配置する大幅なカリキュラム改革を行う。その中で学習効果を定着させるために、実践ターム（1年次の8月～11月）を重点的に、佐世保市と連携した`Awesome Sasebo!`事業を展開し、学生を地域にだし、実際に肌で感じる地域と密着した課題解決型学外実習に取り組む。その体験学習を一過性のものとして終わらせないためにそれ以降のタームで学問的な定着を図る科目を配置する。学生自身が問題発見をし、学問的に解決していく力を身につけさせる。その取り組みを実現させるために、学長のガバナンス機能を強化させ、全学体制でのカリキュラム改革を行う。それを支えるためにFD/SDを強化し、教職員の資質を育成する。</p>	